

Mistral Large 4の衝撃と日本の主権AI（Sovereign AI）戦略

欧州Mistral AIの最新成果と日本のGENIACプロジェクトを比較し、日本が目指すべきAI主権確立に向けた構造的転換の方向性を一目で理解させる。

France (Mistral AI主導型)

仏Mistral AI vs 日本GENIACのアプローチ比較

Japan (GENIAC主導型)

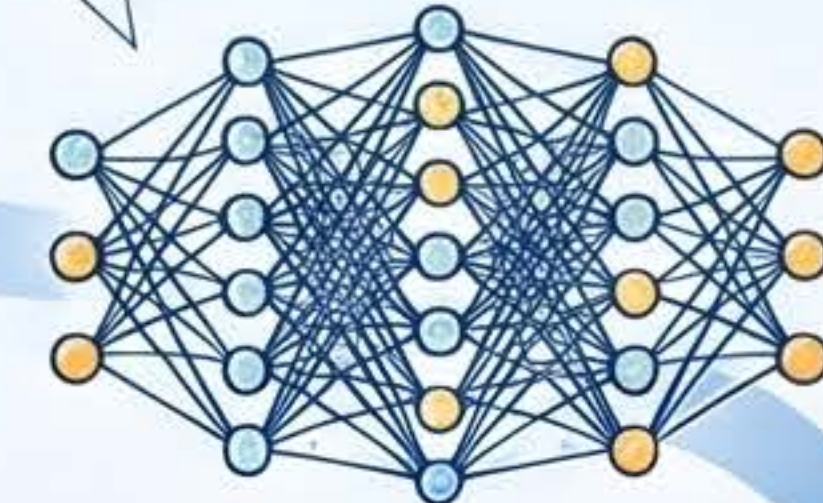
計算資源の配分：メガクラスタ集中
仏は3,800畧のGPU単一集中

開発戦略：1兆級汎用推論モデル
仏は1.05T MoEで米中に直対峙

資金・需要調造：グローバルメガ資本と国共闘
仏は30億ユーロ調達&国府省契約



開発戦略：1兆級汎用推論モデル
仏は1.05T MoEで米中に直対峙



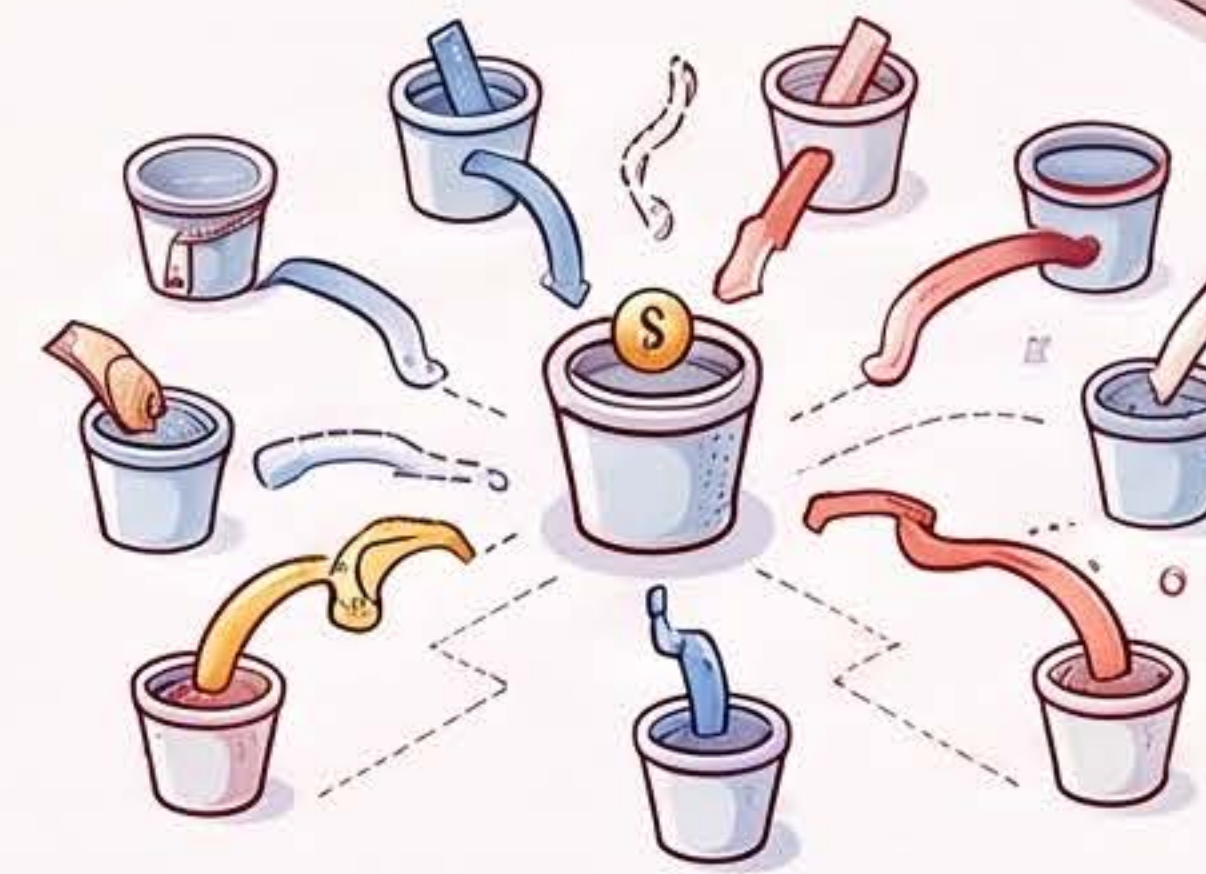
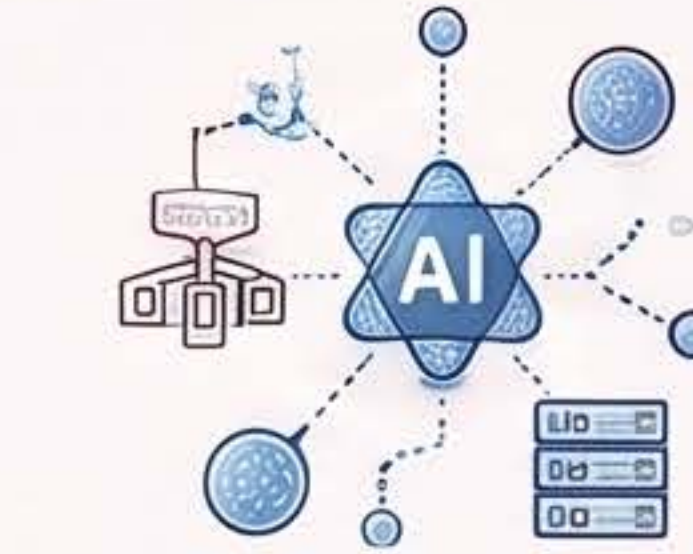
仏Mistral AIの体制

計算インフラ：	3,900畧の最新GPUクラスタへ集中投資
モデル規模：	1.05兆パラメータ（アクティブ49B/52B）
主権の定義：	自前最費で養え蛋みを自律運用・海外資本融合

計算資源の配分：多数プロジェクト分数
日本は339億円を70件畧に分数支援

開発戦略：小型・ドメイン特化型
日本は日本語特化や小型化へ早期シフト

資金・需要調造：補助金中心
日本は政府助成とPoC主導

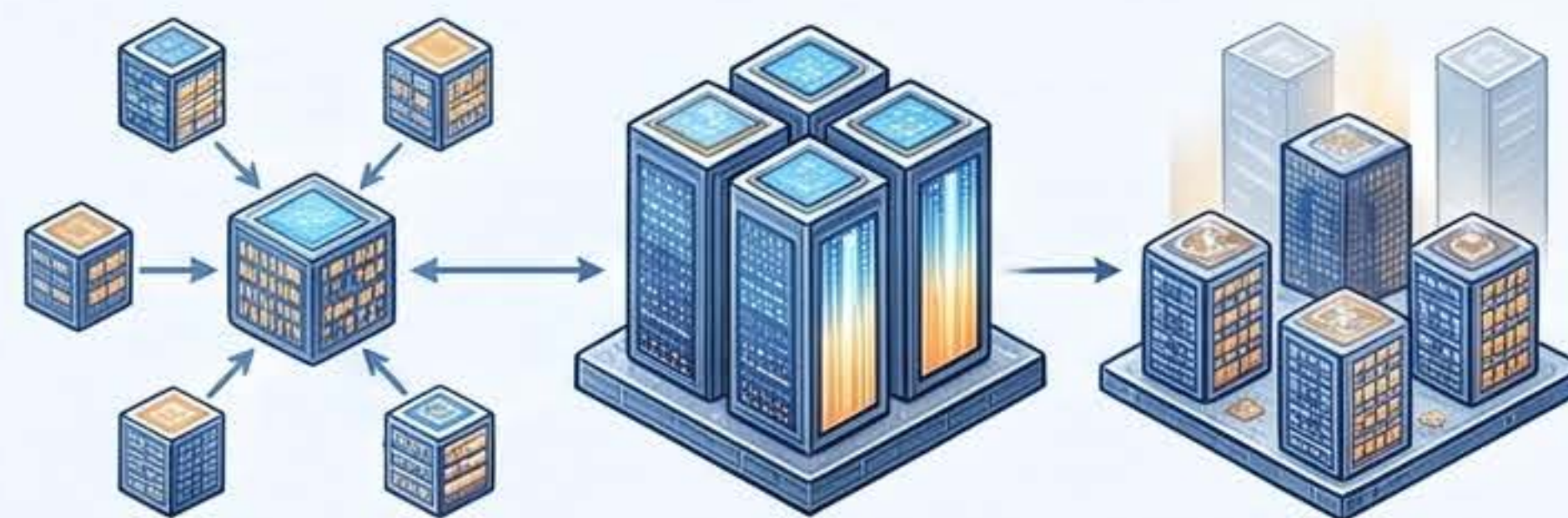


日本GENIACの体制

計算インフラ：	畧339億円を畧70件以上の奉養へ分舦配分
モデル規模：	数十億〜数千億（4B〜172B中心）
主権の定義：	日本語・文化過会を重視・国内主導

日本が導示すべき戦略的教訓

単一の「国家主権メガクラスタ」への集中投資



分散補助金を全席し、数千基規模のGPUを長期関等有
できるナショナルプロジェクトへ移行。

高度な汎用推論力と現場産業データの融合



小型モデルへの逃げを止め、フロンティア級推論力に
製造現場等の高品位データを組み込む。

オープンウェイト戦略と実務的セキュリティ（デュアルユース）



重み公開でデファクトを握りつつ、過剰ガードレールを
廃しサイバー防衛等の実勤領域に対応。